

教員名

辻本 千春

企画名：Mラボ課題解決ラボ2019  
六甲山観光株式会社 × 辻本千春ゼミ

商品開発型  
地域活性化型  
企業

6月26日(水)六甲山観光株式会社訪問、課題整理のため



中間発表会及び最終発表会



### 企画・活動概要

辻本千春ゼミ(研究演習Ⅱ)では、研究演習Ⅰの「大学生の考えるIR2018」の経験をベースに、より高度なPBLプログラム、Mラボに挑戦した。

現在、六甲山観光が抱えている課題は、六甲山の観光者数において日本人は減少傾向で、訪日外国人観光客が増えていることである。観光客を増やしたいということであったので、ゼミで神戸の観光を中心にSWOT分析や神戸に観光に来る目的等のデータ分析を行い、「インバウンドではなく、若者をターゲットに六甲山観光誘致をするにはどのようにすればよいか」ということをテーマに決めた。

本社訪問と現地視察、8月の中間発表を経て最終発表会につなげることができた。

- ★6月26日(水)：六甲山観光株式会社の本社で課題抽出のためのミーティング
- ★8月8日(木)：中間発表会(神戸新聞社本社)
- ★9月13日(金)：現地フィールドワーク
- ★10月26日(土)：最終発表会



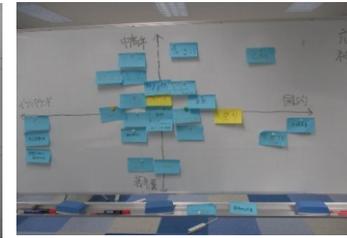
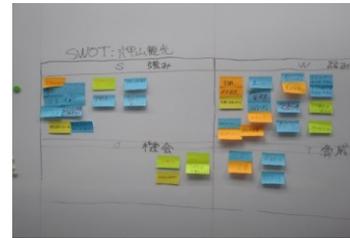
### 経緯・背景・目的

「六甲山」に関するアンケート調査を1年生対象で実施した。また、若い人に人気があるといわれた「フォレストアドベンチャー」を体験して、特に200mあるジップラインの体験も人気な秘密も探った。

そして、文献や関係資料、アンケートデータと情報発信方法の研究から若者対象のプロモーションを考えた。



### 取り組む課題



### 本学(学生)の役割

Mラボは、一つの企業にも一つの大学のゼミが関係するため、中間発表時には別の大学の発表があった。ただ、アンケート分析によるデータに関してはコメントーターから評価してもらい良かったと思う。

六甲山に関するアンケートにお答えください。

\*研究演習Ⅱ(3年生ゼミ)で大学の社会共創プログラム・「六甲山の活性化」の課題解決に取り組んでいます。協力をお願いします。 K-08クラス担任 辻本

記入日：月 日

- ① 年令(記入してください)： 才 ② 男・女
- ③ 出身： 1. 日本人学生(出身県： ) 2. 留学生(出身国： )

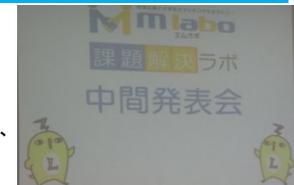
- ④ 「六甲山」を知っていますか。 1. はい 2. いいえ

\*アンケートの一部抜粋

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

研究演習Ⅰのプロジェクトに比べて、「Mラボ」はまさに会社の利益に直結する事業に関しての提案のため、データの裏付けや理由の大切さを学んだ。アイデアだけでは企業としては納得してもらえない厳しさがあった。

中間発表会も最終発表会においても、かなり厳しい質問も受けて、就活とは違うが企業と接する厳しさを学んだようである。



### 指導教員および関係者の紹介



《指導教員》  
人間社会学部  
観光学科  
教授  
辻本 千春  
専門：観光マネジメント  
観光まちづくり

六甲山観光株式会社  
代表取締役社長 宮西 幸治氏  
取締役観光事業部長 上田 準氏  
取締役営業推進部長 明石 達雄

他、多数の方にお世話になりました。